ウリドゥル病院
サイバーナイフ治療の注意事項

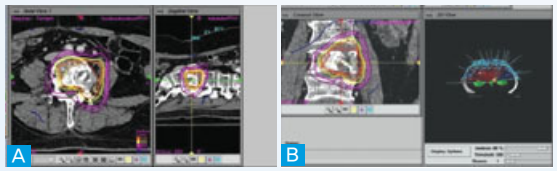
Spine Cancer Center with 4th Generation Cyberknife

治療準備

- 午前診療の方は前日夕方10時から絶食してください。
- 午後診療の方は朝食後から絶食してください。
- 放射線が当たる部位には化粧品、薬などを塗らないでください。
- 風邪薬、栄養剤など、どのような薬であっても、服用しても良いかどうかを必ず担当医に確認してください。
- 果物、牛乳などの甘くない食品を食べて、充分に休んでください。
- 辛い、塩辛いなどの刺激のある食物は食べないでください。
- 治療部位は過度に日光にあたらないようにし、湿布などもしないでください。
- 禁煙及び禁酒してください。

ウリドゥル病院における
サイバーナイフ脊椎癌治療例

Spine Cancer Center with 4th Generation Cyberknife



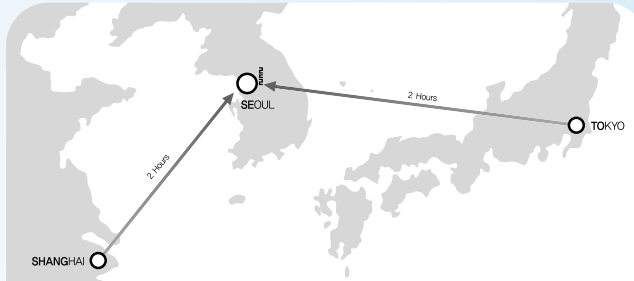
A. 治療前 ： 胃癌が第4番腰椎に転移し、脊椎の半分以上が障害され、激しい腰の痛みと歩行困難を訴えていた。

B. 治療後 ： サイバーナイフ手術後、痛みは完全に消失し、自分で歩けるようになった。

サイバーナイフ診療の相談

ウリドゥル病院サイバーナイフ脊椎癌クリニックは事前診療相談制を実施しています。電話、ファックス、インターネット、直接来院により診療相談を申し込めば、医療陣が診断を行い、治療の可否を判断します。
サイバーナイフ診療相談システムは、無駄な診療及び経費を減らし、患者の精神的・肉体的負担を軽減するため、ウリドゥル病院サイバーナイフ脊椎癌クリニックが国内で最初に始めた患者のためのシステムです。

Spine Cancer Center with 4th Generation Cyberknife



SHANGSETO
(Shanghai–Seoul–Tokyo)
メディカルベルト

ウリドゥル病院は、先進医療技術によって
SHANGSETOメディカルベルトを結ぶアジアの
メディカルハブとして医療に貢献します。

診療時間

平日(月～金)：9:30～18:00　土曜日: 9:30～17:00

診療相談と予約

ウリドゥル国際患者センター(WIPC)

ソウル清潭ウリドゥル病院
TEL: +82–2–513–8452　FAX: +82–2–513–8454

ソウルウリドゥル病院(金浦空港)
TEL: +82–2–2660–7695　FAX: +82–2–2660–7594

E-mail：wipc@wooridul.co.kr
Website：www.wooridul.jp

ウリドゥル病院
Wooridul Hospital

ソウル清潭ウリドゥル病院	+82–2–513–8452
ソウルウリドゥル病院(金浦空港)	+82–2–2660–7695
釜山ウリドゥル病院	+82–51–559–2261
釜山ドンレーウリドゥル病院	+82–51–559–5004
大邱ウリドゥル病院	+82–53–212–3782

2009. 2. 27. Vol. 1

ウリドゥル病院
Wooridul Hospital

Spine Cancer Center
with
4th Generation
Cyberknife

ソウルウリドゥル病院
サイバーナイフ脊椎癌クリニック

新しい思考、新しい変化、確固たる信念、ウリドゥル哲学
New Techniques, Creative Changes, Confidence and Faith, The Wooridul Philosophy

Spine Cancer Center with 4th Generation Cyberknife

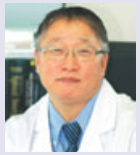
Spine Cancer Center
with
4th Generation
Cyberknife

ソウルウリドゥル病院
サイバーナイフ脊椎癌クリニックは

アジアでは最初となる脊椎癌専門クリニックです。1995年からカトリック大学医学部附属聖母病院と江南聖母病院のサイバーナイフ・センターで15年間の放射線手術経験を有する放射線手術専門家チョェ・イルボン博士を招き、国内サイバーナイフの中では最新機器である4世代(G4)サイバーナイフを使用しています。

- アジア最初の脊椎癌専門クリニックです。
- 全治療過程がワンストップ(One-Stop)で済みます。
- 1日の外来だけでサイバーナイフ治療が終わります。
- 1対1専担責任治療システムで付き添いがいりません。
- サイバーナイフの最新機器を使用しています。
- 15年の経験をもつ放射線手術専門家のチョェ・イルボン博士のチームが直接治療します。
- 世界的に評価されている脊椎疾患専門病院のウリドゥル病院が治療します。
- 出血および痛みのない非侵襲的治療です。
- 既存サイバーナイフ治療とは異なり、体の中に金属ピンを挿入しません。

チョェ・イルボン博士
サイバーナイフ脊椎癌クリニック院長



- 放射線腫瘍学科専門医
- カトリック大学医学部主任教授
- カトリック大学医学部附属聖母病院放射線腫瘍学科課長
- カトリック大学医学部附属聖母病院サイバーナイフ・センター所長
- サイバーナイフ手術を含め放射線手術15年の経歴
- サイバーナイフ手術(Robotic Radiosurgery)アメリカ医学書籍共著者
- 肝癌のサイバーナイフ手術に関して、肝臓学会で学術口演賞受賞
- KBS、MBC、YTN、平和放送などにサイバーナイフの手術紹介で多数出演
- 現アジアハイパーサーミア学会会長、第8次国際集的超音波癌治療学会会長

非侵襲サイバーナイフ治療

Spine Cancer Center with 4th Generation Cyberknife

サイバーナイフは痛みがなく、治療後に傷を残さない非侵襲放射線治療機器です。一般的な放射線治療に比べ、精密かつ正確な治療が可能で、複雑な形の癌や難易度の高い手術が要求される部位の癌に対しても、ほとんど副作用もなく、癌のかたまりだけを精密に壊死させます。また、多量の放射線を癌だけに集中させるため、正常組織を保護しながら、癌を完全に除去したり、癌の成長を止めることができる最先端の治療機器です。

ウリドゥル病院サイバーナイフの利点

安全な治療	- 輸血の必要がなく、非侵襲的です。 - 麻酔を行う必要がありません。 - 副作用や合併症がほとんどありません。
正確な治療	- 映像誘導機器を使って、リアルタイムで患者の動きを感知し、病変の位置を把握します。 - 病変の位置追跡の誤差範囲が1mm以下と少なく、正常組織及び他の器官に損傷を与える危険性がほとんどありません。
効果的な治療	- 腫瘍の位置や形に関係なく治療が可能です。 - 手術が不可能な腫瘍や、複雑な腫瘍も治療が可能です。 - 分割治療が可能で、神経近隣の病変の治療に効果的です。 - 患者の状態によって、多様な治療計画が作れます。
負担のない治療	- 痛みがありません。 - 痛みの原因となる特別な固定装置を使いません。 - 楽に寝ている状態で治療を受けられます。 - 入院する必要がありません。 - 治療の後、すぐに日常的な生活が可能です。 - 治療時間はほぼ1時間以内です。

ウリドゥル病院
サイバーナイフ治療が必要な患者

Spine Cancer Center with 4th Generation Cyberknife

- 「癌手術を受けるには手遅れだ」と専門医から言われた患者
- 「放射線の副作用のせいで、これ以上放射線治療を続けられない」と放射線腫瘍学の専門医から言われた患者
- 抗癌剤治療ができない患者、抗癌剤用量超過でこれ以上抗癌剤治療を続けられない患者
- 癌が再発した患者
- 癌が転移した患者
- 癌治療を受けたが、まだ癌が体内に残っている患者
- 高齢で普通の癌治療を受けられない患者

ウリドゥル病院のサイバーナイフ治療は
どこが違うのか?

Spine Cancer Center with 4th Generation Cyberknife

ウリドゥル病院は第4世代サイバーナイフ(G4)を使用している。第4世代サイバーナイフには既存のサイバーナイフにはない優れた特徴があります。

ウリドゥル病院 '第4世代サイバーナイフ(G4)' の新しい特徴

脊椎追跡システム	脊椎骨格形態を追跡して映像化するため、金属ピンを挿入しなくても、リアルタイムで脊椎治療が出来る脊椎専用サイバーナイフです。
呼吸追跡システム	呼吸による腫瘍の位置変化を感知して、患者が呼吸していても正確な治療ができます。
ゲーティング・システム	呼吸による腫瘍の位置を事前に感知した後、腫瘍が特定部位を通る時に、正確に治療を行います。
効果増強システム	1分あたりの単位照射量が既存サイバーナイフに比べて数倍多いため、治療時間を大幅に短縮でき、高い治療効果が期待できます。
患者負担軽減システム	金属ピンを体に刺さない治療であるため、麻酔の必要がなく出血もありません。

ウリドゥル病院
サイバーナイフの治療過程

Spine Cancer Center with 4th Generation Cyberknife

別の固定枠や標識装置がいらないため、治療が簡単で、全ての治療が当日ワンストップ(One-Stop)で進められます。

診療及び相談 ▶ CT及びMRI検査 ▶ サイバーナイフ治療 ▶ 外来治療終了,帰宅

* 全ての過程が1日の外来で実施できます。